

10/28 ハロウィンパーティー



市民文化センターで行われ、会場には仮装した市民が集まり、ゲームやお化け屋敷のほか、コスチュームコンテスト、近隣住宅を回る「トリック・オア・トリート」などのイベントを楽しみました。

この日に向けて準備した自慢の仮装を披露しました

10/27 台湾員林高級中学と名寄高校が遠隔授業



インターネットテレビ電話サービス(スカイプ)を利用し、名寄高校で行われました。「F_o_o_d」をテーマに台湾の生徒はパイナップルケーキなどを、名寄高校生はハツ橋、すしなどを紹介しました。

それぞれ質問をしながら交流を深めました

11/8 給食に鶴岡市産「庄内柿」が登場



姉妹都市の山形県鶴岡市の「庄内柿」が小中学校などで給食に登場しました。なお、鶴岡市藤島地域では、10月4日に名寄産の「えびす南瓜」を使った「かぼちゃサラダ」が給食に登場しています。

鶴岡市とは少年少女、友の会、物産などの交流が行われています

11/1~3 第60回市民文化祭



11月1日から3日まで市民文化センターで開催されました。初日の1日からは東館を中心に作品展示がスタート。最終日の3日にはEN-RAYホールで芸能発表が行われました。

芸術の秋を彩る

11/3 文化賞、特別栄誉賞などの表彰式を行いました



▲功労・善行・栄誉賞



▲特別栄誉賞



▲文化賞

文化の日のこの日、「功労・善行・栄誉賞」、「特別栄誉賞」、「文化賞」の順で表彰式が市内ホテルで行われました。功労表彰は33個人・8団体、善行表彰は6個人・27団体、栄誉賞は7個人、特別栄誉賞には、スキージャンプ競技で活躍されている瀬川美佳さん(下川商業高校3年)とバイアスロン競技で活躍されている永井順二さん(陸上自衛隊名寄駐屯地)、文化賞(科学部門・女性の地位向上)では野津真喜子さんそれぞれに加藤市長から表彰状と記念品が手渡されました。

功績を讀えて

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

11/12 名寄市民劇場2017
「朔北の画家パリに死す」



出演者や裏方スタッフ全員が市民で作り上げる名寄市民劇場が市民文化センターE・N・R・A・Yホールで開催され、名寄出身の版画家・木原康行さんの生涯が上演されました。

多くの来場者に感動をもたらしました

11/11 2017地産地消フェアinなよろ
第30回なよろ健康まつり



地産地消フェアでは野菜やパンなどのほか、豚肉・牛肉と牛乳も販売され、多くの人で賑わいました。健康まつりではノルディックウォーク体験などを通して生活習慣を見直す機会となりました。

今年から市民文化センターで同時開催

11/19 村田和哉トークショー



北海道日本ハムファイターズ2014年名寄市応援大使の村田和哉さんによるトークショーが「小さな野球少年の大きな夢」をテーマに市民文化センターで開催されました。

「自分の可能性にふたをしないで欲しい」と子どもたちにエール

11/14 ピヤシリスキー場
安全祈願祭



なよろ温泉サンプラーで開催。神官による祝詞や玉ぐし奉納のあと、関係者が見守るなかでグレンデと圧雪車を前にテープカットを行い、今シーズンの無事故・無災害を祈願しました。

今シーズンのオープンは...

PICK UP 東京なよろ会第33回総会が開催



11月12日に主に首都圏在住で名寄市に縁のある方で構成される「東京なよろ会」の総会が東京都千代田区で開催されました。同会は昭和60年6月に設立され、現在300人以上の会員が在籍。遠く離れた地から変わらぬ思いを寄せ続け、それぞれの立場でふるさと名寄市の発展を支える同会の今後ますますの発展が期待されます。

ふるさと会会員募集

東京都、札幌市、旭川市のほか、その近郊に居住する名寄市出身者、または、名寄市にゆかりのある方で組織される「ふるさと会」では、新規会員を募集しています。皆さまのご家族・知人・友人などをふるさと『名寄市』の応援団としてご紹介ください。(居住地域などは限定していません)

ふるさと会名称	年会費	主な活動
東京なよろ会	1,000円	名寄白樺ゴルフツアー 名寄ピヤシリススキーツアー
さっぽろ名寄会	2,000円	会員親睦会
札幌風連会	2,000円	会員親睦会
旭川風連会	1,000円	会員親睦会 ふうれん白樺まつりへの参加

※会員には年3回名寄市の近況を伝える広報紙をお届けします。

問い合わせ 交流推進課(風連庁舎1階) ☎01655③2511(内線362)
✉ny-koryuu@city.nayoro.lg.jp

市外の方がつなく名寄の輪